

今年も三木市内6校の中学2年生12名の学生さんが、11月13日～17日の5日間に『トライやる・ウィーク』で本院でも職業体験をしました。

初日は緊張していましたが、最終日の振り返り会ではすがすがしい笑顔で印象に残ったことや学んだことを発表してくれました。「立ちっぱなしがしんどかった。大人は大変だと思った。」「双子を妊娠中の妊婦さんのお腹に触れさせてもらった。」「生まれて数日の赤ちゃんを抱っこさせてもらった。赤ちゃん、かわいかった。」「病院には、いろんな職種が働いていることが解った。将来について深く考えたい。」など発表してくれました。学生さんの表情や発言から、充実した5日間を過ごせてもらえたと確信しました。

命の大切さや感謝することを忘れず、一人ひとり将来の夢に向かって歩んでほしいと思いました。



看護部次長 高田としみ